

第三種郵便物承認 HSK通巻4498号2017年3月15日発行

HSK

会報「石川守る会」

NO.78

石川県重症心身障害児(者)を守る会

全国重症心身障害児(者)を守る会

石川県支部 会長 山本 衛

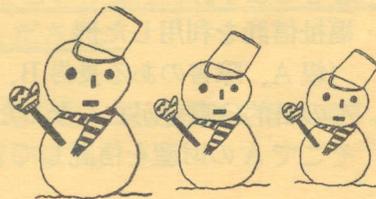
立春も過ぎ春の暖かい日差しを待つばかりですが、まだまだ寒い日が続きます。会員の皆様方、お子様達はお変わりございませんでしょうか。インフルエンザがまだまだ全国で猛威をふるっています。感染には十分ご注意下さい。

さて金沢での全国大会開催も5ヶ月後に迫りました。

実行委員会に参加して下さる方や、当日のお手伝いを申し出られる方も増えてきています。

この大会を石川県で開催することで、重症心身障害児(者)のことを県民・市民のみなさんに理解して頂くよい機会にしていきたいと思えます。

参加できる方、ご協力頂ける方はお近くの役員や実行委員にお知らせください。



成年後見制度の学習会が開催されました！！

昨年11月19日(日)成年後見制度についての学習会をしました。
講師に司法書士の前田 航氏をお招きしてお話し頂きました。

テーマ「成年後見人の財産管理、親亡き後の問題について」

○ 後見人の仕事内容について説明がありました。

- ・被後見人の財産を適正に管理すること。
- ・被後見人の身上監護に配慮すること。
- ・成年後見人として行った職務の内容を家庭裁判所に報告すること。

また財産管理にあたって注意すべきことやしてはならないことなども具体的に説明されました。

*被後見人の親族への贈与や貸付、施設や病院への寄付や贈与生命保険契約などは禁止されています。

*またよくある問題として後見人の交際費の支出については

親戚や知人への香典や祝儀は一般常識の範囲内ならOK

介護や送迎のための自動車の購入については裁判所に確認する

○ 親亡き後の問題について

- ・後見人である親が高齢の場合は万一のことが起きる前に、安心して任せられる身内などを後見人として選んでもらい複数の後見人でサポートするように考えて見るのが大切である。

・遺言の活用

- ① 親は兄弟を後見人に選んでもらい、財産を相続させる遺言を書いておく。その財産管理を後見人である兄弟が引き継ぐ。
- ② 親は障害のない兄弟に多くの財産を相続し、その代わりに障害のある子の生活の面倒を見させる遺言を書いておく。

*障害のある子が一人っ子で遺言を書く能力もない場合、子どもの死後その財産は最終的には国庫に帰属することになる。

③ 福祉信託の活用

高齢者や障害者の財産管理のため営利を目的としない信託のことをさします。

・福祉信託を利用した例

(親A、障害のある長男B、次男C)

Aの目的は自分が亡くなった後のBの生活を保障することです。

そこでAの財産を信託してAを委託者、Cを受託者、受益者をAと

Bに設定します。

そしてAの死後はCが信託財産から毎月少しずつBに渡すように取り決めをします。CからBに確実にお金が渡っているかをチェックするため、司法書士が監督人となる契約をすることもできます。

参加されたみなさんから感想をいただいているので紹介します。

- * 後見人の仕事の内容や注意することをわかりやすく話されて良かったです。自分も子どもの後見人なので特にしてはいけないことが具体的で良くわかりました。
- * 入所している息子は50代後半で私たち親も高齢ですが後見人をしています。これからのことが心配です。複数後見人についても考えて見る必要があると思いました。
- * 遺言の活用の仕方にも色々あることがわかりました。兄弟で紛争になったりしないよう注意が必要なものもわかりました。
- * 福祉信託の活用事例を初めて聞きました。選択肢の一つとして考える価値があると思いました。

「全国大会実行委員会」より

1月21日(土)医王病院にて2回目の実行委員会が開かれました。

- ・当日の係の割り振りの追加や依頼先について
- ・資料を入れるダンボール箱の調達について
- ・在宅分科会のパネリストの候補者依頼について
- ・懇親会の司会及び催しものについて
- ・意見発表者について

などについて話し合いました。



当日の受付は全国各地から大勢の方がいらっしゃるの各ブロック毎に分けて受付する予定です。石川以外の東海・北陸ブロックの方にもお手伝いをお願いしています。

大会開催中のケアルームの医師と看護師さんは医王病院から派遣して頂くことになりました。

前日の資料袋詰め(6月9日13時～)と当日の受付のお手伝いの人が足りません!ご協力頂ける方お知らせください。

次回実行委員会は3月12日(日)10時から 医王病院で行います。
多数のみなさんのご参加をお待ちしています。

お知らせ

* 3月予定の昼食会は延期します。今年は全国大会の準備などで忙しいので2回目の昼食会は大会終了後に延期したいと思います。
ご理解頂き次回の昼食会には多数の方のご参加をお待ちしています。

* 本の紹介 「重症心身障害児(者)医療福祉の誕生」
「守る会」の常務理事で北海道療育園の理事長でもある岡田喜篤先生が長年に亘る重症児者医療・福祉分野の活動の集大成とも言える著書が出版されました。重症心身障害児に関する概念の歴史や医療・福祉教育の発展などについて書かれています。

お読みになりたい方は役員まで申し出てください。



編集人	石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先	929-0123 石川県能美市中町ツ 88-1 Tel.0761-56-0610
	会長 山本 衛
発行人	北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 312 番地
定 価	30 円